

Mizuho Daily Market Report

2023/3/30

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	131.97	132.86	+1.97	+1.42
EUR	1.0835	1.0844	▲0.0001	▲0.0012
AUD	0.6672	0.6684	▲0.0025	▲0.0001
SGD	1.3299	1.3292	+0.0019	▲0.0014
CNY	6.8877	6.8895	+0.0132	+0.0195
MYR	4.4124	4.4202	+0.0192	▲0.0350
THB	34.19	34.14	▲0.15	▲0.30
IDR	15059	15065	▲22	▲280
PHP	54.46	54.45	▲0.02	▲0.08
INR	82.32	82.34	+0.15	▲0.33

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.564%	▲0.6 bp	+13.0 bp
日本(10年)	0.324%	▲3.1 bp	▲0.4 bp
ユーロ圏(10年)	2.329%	+3.9 bp	+0.1 bp
オーストラリア(5年)	3.023%	▲0.6 bp	▲8.5 bp
シンガポール(5年)	2.909%	+9.2 bp	+1.0 bp
中国(5年)	2.671%	▲0.3 bp	+0.5 bp
マレーシア(5年)	3.523%	+3.0 bp	+0.9 bp
タイ(5年)	1.921%	+1.5 bp	▲5.6 bp
インドネシア(5年)	6.412%	+0.7 bp	▲7.7 bp
フィリピン(5年)	5.865%	▲1.0 bp	+3.4 bp
インド(5年)	7.171%	▲3.4 bp	▲5.6 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	32,717.60	+1.0%	+2.1%
N225(日本)	27,883.78	+1.3%	+1.5%
STOXX60(ユーロ圏)	4,231.27	+1.5%	+0.8%
ASX(オーストラリア)	4,116.63	+1.1%	▲0.1%
FTSTI(シンガポール)	3,262.54	+0.2%	+1.3%
SSEC(中国)	3,240.06	▲0.2%	▲0.8%
KLSE(マレーシア)	1,420.35	+0.8%	+0.6%
SETI(タイ)	1,610.52	+0.2%	+1.6%
JKSE(インドネシア)	6,839.436	+1.2%	+2.2%
PSE(フィリピン)	6,630.97	+0.4%	+1.3%
SENSEX(インド)	57,960.09	+0.6%	▲0.4%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	262.71	▲0.3%	+1.6%
金	1,964.70	▲0.4%	▲0.3%
原油(WTI)	72.97	▲0.3%	+2.9%
銅	9,008.75	+0.5%	+1.2%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	131.60	—	133.30
EUR/USD	1.0800	—	1.0920
AUD/USD	0.6630	—	0.6730
USD/SGD	1.3260	—	1.3340
USD/CNY	6.8750	—	6.9060
USD/MYR	4.4060	—	4.4400
USD/THB	34.05	—	34.40
USD/IDR	15000	—	15180
USD/PHP	54.20	—	54.65
USD/INR	82.10	—	82.60

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は131円台前半で取引を開始。取引開始直後は下押し圧力が強まり、130円台後半まで下落したものの、公示仲値決定のタイミングにかけ実需のドル買いが優勢となり反発。その後も同様の流れが続く中、金融不安が一旦和らいでいることによる円の売り戻しや3月決算企業の権利最終日で株式市場が上昇する動きもサポートとなってか、一時132円台まで上昇し海外時間へ渡った。

アジア通貨はアジア時間、ドル買いが優勢となる中、対ドルで下落。タイバーツは中銀会合において0.25%の利上げを決定したが、事前予想通りということもあり市場の反応は限定的となった。

海外市場のドル円は米州時間朝方にかけてアジア・欧州時間時間の流れを引き続き132円台半ばまで上昇したが、同水準では上値重く反落、続いて発表された米2月中古住宅販売仮契約件数(前月比)が予想を上回ったものの、ドル円への反応は限定的。その後米株式市場の株高を受けドル買い展開となり再び132円台半ばまで反発するもやはり同水準では上値重く推移。米州時間午後にはFRB議長が会合で「年内にもう一度利上げする可能性がある」とのヘッドラインが伝わるも特段のドル買い材料とはならず、その後も高値圏で横ばいの推移が続き、終盤には132円台後半まで小幅上昇し日中高値を更新しクローズ。

【金利】

米債利回りはパラレルに小幅上昇。米州時間朝方は引き続きの金融システムへの信用不安の後退で、大きく売られていたが、その後は先の米景気見通しへの不透明感もあって、買い戻しが見られ、引けにかけてはレンジ推移となった。

【予想】

本日のドル円相場は底堅い推移を予想。金融システム不安の後退によりリスクセンチメントの改善が進む中、ドル買いの流れが継続するものと予想。

【本日の予定】

(日本) 国債入札(2Y)
(アジア) 2月 NZ 住宅建設許可
(アジア) 3月 NZ ANZ企業景況感
(アジア) 4月 韓国 景況判断
(アジア) 休場 インド
(欧州) 2月 伊 PPI
(欧州) 2月 伊 失業率
(欧州) 2月 西 小売売上高
(欧州) 3月 ユーロ圏 景況感 / 消費者信頼感(確) / 鉱工業信頼感指数 / サービス業信頼感指数
(欧州) 3月 愛 CPI(速)
(欧州) 3月 独 CPI(速)
(欧州) 3月 西 CPI(速)
(欧州) 伊 国債入札(5Y、10Y)
(米国) 4Q GDP / GDP価格指数
(米国) 新規失業保険申請件数
(米国) 新規失業保険申請件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。